

駒場の五本灯籠の修復完成！

中村幸雄さん、83歳（23A組）は神田町会に三か所（駒場、鳥居、立小路）設置場所がある五本灯籠の内、駒場の灯籠を修復、今年度例大祭にお披露目となった。

毎年行われる例大祭時に飾られるものであるが、昨年、柱・屋根障子・灯籠を大きく破損し使用できる状態でなくなっていた。

そこへ氏子総代より修復依頼があり約一年間試行錯誤を続け今春にほぼ形が出来上がったということである。

この灯籠の特徴は高さ5メートル、幅3.5メートルと車が通過できるとても大きな形状のものである。（写真参照）

今回の修復にあたり、柱は檜、屋根障子は赤・白和紙、照明はLED（寿命3万時間）へ変更し省エネも兼ね今後50年を見据えた頑丈な仕様を考案。また、来年の道路幅拡充に合わせて、50センチ間隔で灯籠幅を広げることも既に検討済み。道路交通法にも適応できる内容となっている。

尚、平成27年9月22日 今回の例大祭に向け関係者にて清拔式が無事行われた模様。



駒場：五本灯籠正面のようす



提灯、屋根障子のようす